

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報メディア入門		授業コード	P180501
担当教員名	足立 元・津田 克巳・赤星 哲也・濱田 大助・星芝 貴行・高文局・坂井 美穂・伊藤 研・坪倉 篤志・吉森 聖貴・福島 学・森迫 誠・鈴木 秀男		科目ナンバリングコード	
配当学年	1	開講期	前期	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件				
受講心得	遅刻・欠席をしないこと。 毎回、レポート課題が課されますので、必ず期限内に完成させ提出してください。			
教科書				
参考文献及び指定図書				
関連科目				

授業の目的	この科目は情報メディア学科に所属する全専門教員によるオムニバス形式で実施します。情報メディア学科の教育研究内容の全体像を理解することを目的としています。
授業の概要	授業はオムニバス形式で実施します。情報メディア学科の教育研究内容について、各分野を専門とする教員が概要を解説します。第2回では情報メディア学科の教育研究内容の全体像を解説します。続く、第3回から第15回までの13回にわたり、各回ごとに1つの専門分野について解説していきます。毎回、レポート課題が課されますので、期限内に提出してください。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : スタートアップセミナー	
第 2 週 : ガイダンス この科目の目的、到達目標、学修内容、学修方法(受講心得)、成績評価方法について説明します。	配布資料・レポート
第 3 週 : グラフィックデザイン・CG分野 グラフィックデザイン・CG分野の全体像について概観してみます。	配布資料・レポート
第 4 週 : サウンドデザイン分野 サウンドデザイン分野の全体像について概観してみます。	配布資料・レポート
第 5 週 : 映像デザイン分野 映像デザイン分野の全体像について概観してみます。	配布資料・レポート
第 6 週 : ネットワーク分野 ネットワーク分野の全体像について概観してみます。	配布資料・レポート
第 7 週 : データベース分野 データベース分野の全体像について概観してみます。	配布資料・レポート
第 8 週 : 社会情報学分野 社会情報学分野の全体像について概観してみます。	配布資料・レポート
第 9 週 : Webデザイン分野	配布資料・レポート

Webデザイン分野の全体像について概観してみます。		
<b>第10週：データ解析分野</b> データ解析分野の全体像について概観してみます。		配布資料・レポート
<b>第11週：画像処理分野</b> 画像処理分野の全体像について概観してみます。		配布資料・レポート
<b>第12週：自然言語処理分野</b> 自然言語処理分野の全体像について概観してみます。		配布資料・レポート
<b>第13週：組み込み分野</b> 組み込み分野の全体像について概観してみます。		配布資料・レポート
<b>第14週：LSI設計分野</b> LSI設計分野の全体像について概観してみます。		配布資料・レポート
<b>第15週：情報教育分野</b> 情報教育分野の全体像について概観してみます。		配布資料・レポート
<b>授業の運営方法</b>	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	
<b>地域志向科目</b>		
<b>備考</b>		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	情報メディア学科の各分野の概略を理解するために、積極的に授業に参加する。
<b>【知識・理解】</b>	情報メディア学科の各分野の概略の理解を確実なものにするために、毎回課されるレポート課題を締切内に完成させ提出する。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b>	

<b>○成績評価基準(合計100点)</b>			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	<b>期末試験・中間確認等(テスト)</b>	<b>レポート・作品等(提出物)</b>	<b>発表・その他(無形成果)</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			<b>15点</b>	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		<b>85点</b>		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。				
<b>(「人間力」について)</b>				

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	毎回、授業内容に即したレポート課題を課します。期限内に完成させ提出すること。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	授業への取り組みについて評価します。